

## 第2回宗像市農業振興推進協議会 《議事録》

### ◆ 日時・場所

- 日時：平成20年1月9日（水）13：30～15：00
- 場所：宗像市庁舎 北館204会議室

### ◆ 出席者

- 宗像市農業振興推進協議会委員

委員出欠表（ <input checked="" type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席）			
<input checked="" type="checkbox"/> 深田彰子委員	<input checked="" type="checkbox"/> 山下雅弘委員	<input checked="" type="checkbox"/> 中野泰雄委員	<input checked="" type="checkbox"/> 石松秀一委員
<input checked="" type="checkbox"/> 乙藤まり委員	<input checked="" type="checkbox"/> 高宮計美委員	<input checked="" type="checkbox"/> 早田義彦委員	<input checked="" type="checkbox"/> 岩佐洋一委員（副会長）
<input checked="" type="checkbox"/> 山田 堅委員	<input checked="" type="checkbox"/> 中村料康委員（会長）	<input checked="" type="checkbox"/> 天野寛子委員	<input type="checkbox"/> 伊藤征子委員

- 事務局：野中産業振興部長、高宮農業振興課長、安部振興係長、田村・永野振興係職員
- オブザーバ：瀧口商工係長

### ◆ 議事内容

#### 1. 開会の挨拶

会長挨拶

只今から第2回宗像市農業振興推進協議会を開催します。年の暮れに第1回目の協議会を開催しました。今回は農業振興計画(案)の重点施策について主に協議いただきしたいと思います。

#### 2. 前回議事録の確認

事務局：第1回宗像市農業振興推進協議会《議事録》の確認。

#### 3. 農業振興計画案の協議

事務局：宗像市農業振興計画（案）に基づいて、変更修正部分を説明。

会 長：事務局からの説明がありました、何かご意見はありませんか。

委 員：17ページ、認定農業者の育成のところで『増やします。』ということですが、年齢、面積要件等があり緩和できるのですか。

事務局：新たに市町村特認が作られることが暮れに分かりました。詳細については、県が1月15日に市町村を対象の説明会を開催しますので、全貌が分かると思います。年齢要件については、市では平成18年度に撤廃しています。面積要件については、4ha以上となっていますが、こちらは市町村で特認ができます。分かり次第、市で対応していきたい。しかし、対象者となるのは、認定農業者になりますので、複合経営で面積が少ない方は対象になりますが、土地利用型で面積の少ない方を対象にすることは難しいとおもいます。認定農業者数については、実績から見て可能と考えています。

会 長：他にありませんか。

委 員：今の質問の追加ですが、法人数、集落営農が達成となると農地が足りなくなってしまうか。

事務局：農地不足は課題だと考えています。農地の面的集積を図り、また効率的な農業経営ができるよう、集落内で農地利用調整等を行なう農用地利用改善団体の設置を支援していきます。

委 員：後継ぎのいない認定農業者の高齢化や法人の設立支援について教えてほしい。

事務局：担い手の育成については、17ページにあるように関係機関と連携をはかり進めていきます。認定農業者の高齢化については、5ページで本市農業の主要課題のひとつと認識しています。法人の設立支援についての具体的な方法としては、国の政策をどのように受け止め、活用していくかにより、記述が難しくこのような記入となりました。

委 員：私も含め法人を立ち上げているが、それぞれ運営の方法が違う。何が一番良い運営のやり方かを研究し、これから指導をしてほしい。

会 長：他に何かありませんか。

委 員：『支援します。』とありますが、例えば農産物のブランド化は誰がするのか、販路開拓等、具体的なものが無く漠然としている。

事務局：具体的に記入していないが、支援の方法はいろいろあると思うので、ケースバイケースで考えていきます。

事務局：JAの農業振興計画では具体的な品名をあげてブランド化の支援を計画していますが、最終的にブランド化を担っていただくのは農家の方になると思います。

会 長：県の方でも、ブランド推進協議会があるのでそれと連携したらどうか。

委 員：市で協議会などを立ち上げて統一化しないとブランド化にはならないのではないですか。

委 員：重点施策の①～③は農業サイドだけの課題になるが、④⑤⑥は商工との連携で行なっていないと成り立たないと思います。

委 員：「むなかた季良里」というのはどういった基準ですか。

事務局：(オブザーバ) 商工会の方で審査委員会を設けていて、提示された商品・生産物等を審査しています。審査基準としましては、基本的に地元の物を使っている・商品のオリジナル性を重視し審査決定をしています。現在は、事業体では40ほどで、米・お菓子・工芸品など90品目ほどに及びます。

事務局：ブランド化についてはもう少し事務局の方で検討したい。

委 員：グローバルアーナの近藤社長と話したときにグローバルでは年間30万食を作っている。地元の食材を使うことによって我々の宣伝にもなるし吉武・宗像の農業の活性にもなると言われた。グローバルをうまく使うこともいいのではないかと思う。

会 長：何かありますか

委 員：担い手の農地の集積が26、2%は少ないですね。

事務局：認定農業者同士がもう少しまとまってくれたら集積率はあがります。

会 長：他にありますか

委 員：以前、振興センターの方で『宗像・福津』の飲食店 55 箇所アンケートをしたと聞いたのだが結果報告はどうなっていて、その結果を農業者におろさないのはなぜか。

事務局：商工会の方にリストアップをお願いしている。宗像市内の個人経営の大きな飲食店は 30 ほどで福津とあわせて総数 50 いくつになる。

課 長：あわせて 55 と聞いている。回収率が 8 割くらいなので、回収がまとまったら公表するという話でした。

委 員：そういう結果を踏まえてブランド化などにつなげていきたい。

委 員：グローバルさんとタイアップして農業経営を進めていきたい。グローバルアリーナで使用している米ですが、以前は J A だったのが今は外食産米に取られてしまっている。しかし、社長との話し合いで J A を通して買ってもらうように話をした。

委 員：農業は作れば良いと言うものではなく、作って売らないと生活が成り立たない。J A だけに販路を任せているのではなく販路を広げていかなければならない。

委 員：甘木に行ったときの話。黒米や赤米を作っている。黒米あたり 20 t。1 反に 5 俵位でき 1 俵あたり 15 万ほどで売る。赤米・黒米あわせて 35 t ほど作っている。甘木の組合長は、働こうと思えば何でもできると言っており、女性もアスパラの収入が毎月約 17 万円程になっている。との事でした。

委 員：末端の一人一人から考える前向きな姿勢が良いですね。

委 員：井戸端会議をするなら手を動かしながらすればいい。

法人の大きさはどのくらいが良いのか。将来的には小さい法人がたくさんよりは大きな法人の方が良いのではないか。

米・麦・大豆だけを作っている法人はつぶれてしまう。J A ・市・普及センターには法人の設立というものを考えて欲しい。

委 員：⑥と⑦の安全で安心な農産物の提供などは個人的には賛成。できるだけ、農薬を使わない安心なものを子孫に食べさせたい。しかし、現実には J A から除草剤使用の指導を受け、田島の場合ヘリ防除組合による空中散布があるので個人的に減農薬・エコファーマーに取り組むのは現実的には難しい。

事務局：個人での農薬散布よりはヘリ防除の方が地区全体としての農薬使用量は少ないと聞いている。

課 長：完全無農薬ではなく適正使用だと思う。J A さんの場合は完全無農薬ではなく適正農薬の指導だと思う。

委 員：エコファーマーの指定を米で受けている。ヘリ防除は 2 回のうち 1 回のみにし、温湯消毒を実施している。農薬の成分も 3 成分を 2 成分にしているのがある。

委 員：エコファーマーを目指している人たちにはそういった指導が必要ではないか。

事務局：現在名残集落では 10 数名ほどでエコファーマーの申請を出している。県の減農薬認定として、通常使用の半減を基準目標にしている。

委 員：目標数値が低いのではないか。

委 員：温暖化のためか最近、虫害が増えている。

事務局：温暖化のため水稲では農薬の使用が増えると聞いている。

会 長：何かありますか？なければ協議を終わらせていただきます。

#### 4. その他

事務局：2月15日から3月17日までをパブリックコメント期間にしているのもう一度お集まりいただきたい。日程については会長と相談のうえ決定させていただく予定です。

会 長：それでは、3月17日以降に次回を予定しています

事務局：次回までに少し間があるので、おって調整させて頂きたいと思っています。

#### 5. 閉会の挨拶

会 長：これで、協議を終了させていただきます。ありがとうございました。